

つば×ともモデルエピソードアワード受賞作決定

－みんなで選ぶ「共家事」「共育て」エピソードが決定しました－

燕市では、家事・育児などがだれか一人に偏ることがないように、家庭での分担や職場、地域等で支えあう「共家事」「共育て」の取り組みを推進するため、「つば×ともモデルエピソードアワード」を立ち上げ、家庭や職場などで実践されているエピソード等を募集しました。

この度、応募のあったエピソードの中から、市民による一般投票等により4つの受賞作を決定しましたので、4月18日にうさぎもちハレラテつばめにて表彰式を執り行います。受賞作も含め、今回応募のあった各エピソードは、燕市ホームページに掲載予定です。多様なエピソードの周知を通じて、「共家事」「共育て」の推進を図ります。

【つば×ともモデルエピソードアワード 2025 受賞作】 ※詳細は別紙

賞名	エピソードタイトル
お互い様精神で賞	役割分担はあえて決めない！
郷土愛育むで賞	つばめっ子カルタ巡り
感謝の言葉は大事で賞	「ありがとう」って言ってもらいたい！
社員思いやり賞	子どもひとりの誕生で100万！ ずっと安心して働けるように！

※受賞エピソード等は市ホームページからご覧いただけます。



▲市ホームページ

【表彰式の概要】

- 1.日 時：4月18日(土) 午後2時15分～2時35分
- 2.会 場：うさぎもちハレラテつばめ 交流スペース
- 3.内 容：市長から賞状・副賞(燕市製品)授与、受賞者から一言、写真撮影

※取材を希望される場合は、事前に担当までご連絡ください。



本件についてのお問い合わせ先
企画財政部 地域振興課：鈴木
電話：0256-77-8361 (直通)

【つば×ともモデルエピソードアワード 2025 受賞作】

お互い様精神で賞	『役割分担はあえて決めない』 ペンネーム：青りんごさん
<p>フルタイム共働きの我が家では家事分担を決めず『できる人ができることをする』が基本方針。</p> <p>分担を決めると「なんで担当なのにやってないの？」と口論になってしまうことも…。相手がやってくれるのを待っている時間が一番もったいないので、「相手が疲れてそうだから自分がやろう！」「手が空いてる自分がこっちの家事を済ませよう！」とお互い様の精神で臨機応変に対応しています。</p>	
郷土愛育むで賞	『つばめっ子カルタ巡り』 ペンネーム：ギズモさん
<p>燕市の歴史や文化をかるたにした「つばめっ子カルタ」を子どもが覚えたいと言ったので、理解しやすいようカルタにある場所を休日、家族で巡っています。</p> <p>吊り橋を渡って五合庵を教えたり、てまりの湯の足湯へ行ったり、おいらん道中を見せたり…。</p> <p>親子でカルタも覚えられるし、燕の歴史を一緒に知る中で家族の会話も増えると思います。</p>	
感謝の言葉は大事で賞	『「ありがとう」って言ってもらいたい！』 ペンネーム：もりみさん
<p>家のことを毎日続けていると「自分ばかり家事をしている」と感じる場合があります。だからこそ、やった家事をきちんと伝え合い、「ありがとう」と言い合う習慣を大切にしています。男女どちらが家事・仕事をするという固定観念をやめ、同じ家に住むチームとしてルールを決めることで、喧嘩も減りました。“ありがとう”って大事ですよね☆</p>	
社員思いやり賞	『子どもひとりの誕生で 100 万！ずっと安心して働けるように！』 ペンネーム：ちょぴんさん
<p>職場の制度として、社員に子どもが一人生まれると 100 万円が支給されます。双子なら 200 万円！12 年ほど前から始まった制度で、これまで 10 人以上の社員に支給されています。</p> <p>さらに、コアタイムなし完全フレックスタイム制度も導入していて、誰もが自由な時間で勤務することが可能で、子どもが生まれた後でも柔軟に働くことができます。子どもが生まれた時も、生まれた後も応援してくれて心強いです。</p>	